

サポートセンター通信

No. 62



発行日：平成28年3月15日 第62号

発行元：松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手3-8-13
松本市役所大手事務所2階
TEL/FAX: 0263-88-2988
Mail: support-center@support-center.jp
URL: http://www.support-center.jp

1月30日 市民協働フォーラムを開催しました！

平成27年12月に策定した「市民活動と協働を推進するための基本指針」を読み、市民協働の新たなデザインづくりを実施する市民協働フォーラムをサポートセンターにて開催し、42名の皆様にご参加いただきました。

NPOや町会、企業や市議会といった様々な分野の皆様にご参加いただき、グループに分かれてワークショップを実施した結果、基本指針の具現化に向けた多種多様なアイデアが提案され、非常に充実したフォーラムとなりました。今後は、提案されたアイデアを基に、基本指針の具現化を進めていきます。また、参加者からは「様々な分野の皆さんと意見交換できる機会は非常に重要であり、新しいアイデアや知り合いを得ることができた。この様な機会を是非作ってほしい」という声もいただきましたので、様々な分野の皆さんが集える機会を積極的に作り、新しい出会いとその出会いから生まれる新たな協働のサポートをしていきたいと思っております。(内山)



2月28日 プラチナフォーラム

「プラチナ人生を華齡(かれい)に生きる」をテーマにプラチナ世代が培ってきたスキルや経験をいかして「生きがい・やりがい」のある活動を応援しようと実行委員会主催の第4回プラチナフォーラムが開催されました。



基調講演では産科医で日本笑い学会副会長の昇幹夫さんが「笑いは心と脳の処方箋～地域デビューでいきいき仲間づくり」と題して講演。笑いは免疫細胞を活性化するし、人は人を喜ばせるために生まれ特技や得意技があれば生きがいにもつながる。プラチナ世代は「会いたい人に会いに行く」「行きたいところへ行く」「歌いたい歌を歌う」「遠慮しない」「おもしろいことをする」ことが大切で「あいうえおの法則です」と最後に披露。後半の交流会は昨年同様にウェルカムコンサートでスタートし活動発表とワークショップを行いました。8割以上の方が最後まで参加くださり「元気をもらった。まだまだ何かできると感じたし何かしたい」と前向きな意見もいただきました。そして10名の方が新たにプラチナサポーターズに入会されプラチナサポーターズ松本にさらなる期待が寄せられたフォーラムになりました。(山崎)

2月20日 まつもと震災支援ネットフォーラム

まつもと震災支援ネットのフォーラム「命をはぐくむーお母さん達へのメッセージ」が開催され、約80名の方がご参加くださいました。今回「子ども達のために私達はなにができるのか？」というテーマをかかげ、第一部は鎌仲ひとみ監督の映画「小さき声のカノンー選択する人々」の上映会、第二部は鎌仲監督の講演会、第三部は命をはぐくむフリートークと題して鎌仲監督やゲストの方々、そして会場の皆さんと共に車座になり意見交換をし、ゲストの方からは自身のこと、また福島の現状等をお話いただきました。また映画を見た参加者の感想としては「あたり前であるはずの日常があたり前じゃない方たちがいる。自分でも何ができるかを考えながら、できることからはじめていきたい」との声もいただきました。今年11日で東日本大震災から5年が経ち、それでもまだ自宅に帰れない方々がいるという事実。そして現代を生きる子ども達のために、私達大人は何をしてあげられるのかを考えるよいきっかけとなるフォーラムとなりました。(坪根)



市民活動フェスタ2016 第1回実行委員会 開催！！

9月24日・25日にあがたの森で開催する市民活動フェスタ2016の第1回実行委員会を次のとおり開催します。参加希望の団体は、ぜひ出席いただきますようお願いいたします。

- 日時：4月20日(水) 19:00～
- 内容：市民活動フェスタ2016開催内容の確認
- 場所：市民活動サポートセンター
- 実行委員長の選出 など

さぼせん日記 サポートセンターでのイベントのようすをご紹介します。

1/19～2/16 NPOセミナー フォローアップ講習

1/12の基調講演に続きフォローアップ講習を開催しました。〈入門編〉ではNPO法人に関する基礎知識や活動資金の調達法を学び、〈実践編〉は事業計画の立案や会計・税務、情報発信方法などをワークシートなどで体験しました。現在市民活動に取り組まれている方にも役立つであろう内容でした。さらに参加者同士のつながりができネットワークが広がっていく予感がします。

平日の連続講座にもかかわらず多くの方に参加していただきました。参加して下さった方は50代の方も多く、プラチナ世代への期待も高まります。来年度の開催は未定ですが



今回いただいた皆さまの声を反映し、またセミナーを行っていきたく思います。

2/11 プラチナサロン

今月は祝日の開催となりましたが、たくさんの方に参加していただきました。午前は百瀬会長による科学実験で、笑いをまじえながら身近にある道具を使って参加者全員で実験をしました。午後は「薬の話」。プラチナ世代にとっては切り離すことのできない話題で、予定時間を超えて質問が出されました。



3/10 ふれあいサロン

インフルエンザの影響で欠席の団体がありましたが、午前の販売会では参加された方々は元気に活動していました。午後の交流会は、プラチナサロンと合同で小松規美子さんの演奏に合わせて春の歌を合唱しました。歌ってみたら意外に「ぴったり」の替え歌もあり、楽しみました。

(小林)



支える人たち ～「松本カレー」推進委員会会長 小山 修さん～

松本市内で様々な形で地域づくりに貢献する方々を紹介するコーナーです。

1月から松本市内で開催されているスタンプラリーイベント「カレーラリー」では、参加店舗を回ってスタンプを貯めると各種サービスや特典が受けられる。

「エスニックカレーメーヤウ」店長であり「松本カレー」推進委員会会長の小山さんにお話を伺った。

——「カレーラリー」が始まったきっかけを教えてください。

松本の冬は毎年、寒さでお店の客足が遠のいてしまうんです。その時期にただお客さんを待っていてもしょうがないので、上土にある『想雲堂』の渡辺さんと、2月頃にカレーにちなんだイベントを企画したいねという話をしたのがきっかけです。今年は第2回目の開催となります。

——去年に比べてずいぶん参加店舗数が増えましたね。

去年の29店舗から今年は54店舗に増えました。去年参加しお店のほか、参加したいと申し出てくれたお店、また今年新しく声をかけたところや、その知り合いのお店ともつながっていった結局54店舗になりました。

——活動資金はどのように調達しているのですか。

参加費として一店舗につき5000円をもらっています。市内でフリーペーパーを発行していた知人にパンフレット等のデザインや編集を依頼しているのですが、一緒に松本のまちを盛り上げる企画に協力してもらおうという形でコストは多少抑えているんです。あとはグッズ販売をしたり。組織としての利益はないのですが、結果的に街に人が出てきてくれればいいかなと思って

います。

——実際に参加者も増えていきますね。

お店の広告を出すとなると数万円の費用がかかるうえに、それだけだとなかなか足を運ぶきっかけになりづらいのですが、お店同士で集まってイベントという形にするとより興味を持ってもらえるんです。

カレーラリー自体が一種の広告みたいなもので、イベントに参加して楽しんでもらうことが、新規のお客さんを獲得する仕組みになっているのかなと思います。

——今後の活動予定を教えてください。

松本のカレー店で知恵を出し合って松本の食材を使ったご当地カレーを開発するプロジェクトを立ち上げ、3月13日に試食会を行いました。カレーラリーはまちの中で盛り上がるイベントですが、今後は「松本カレー」で外に向けて松本の地名を発信していきたいと考えています。

(インタビュー：中川)



「松本カレー」推進委員会事務局 TEL: 0263-33-6504

CLOSE UP! : サポートセンターの登録団体の活動を紹介します。

いいな松本 花サロン

Tel : 0263-33-4841 (代表 : 今井常雄)
URL : taku29yoko26_1023@softbank.ne.jp

『いいな松本 花サロン』は絵画・書写の児童作品展等のボランティア活動をしていた有志で集まり昨年の 11 月 7 日に団体を設立した。名前は設立日の“11.7”から“いいな”とつけた。これまでも代表の今井常雄さんは有志とともに個人活動として約 10 年間『いいな松本 花サロン』の母体となる活動を公民館等で行っており、現在もそのメンバーと小学校でのお花やお抹茶体験をはじめ、入院されている方の心が少しでも安らぐようにと、病院の廊下に子どもたちの絵画を展示する活動や福祉施設や学校の生け込み（花や枝などを花器にさして、植物の美しさ、生命力を表現する）活動を行っている。「自身も子どもの絵画やお花に元気もらっている。学校の先生からは生け込みがあるだけで廊下を走る子ども達が減ったとの意見もあり、花が心にもたらす効果は大きいと思う」と今井さん。しかし少人数の力ではできることも限られているので、もっと多くの方や団体と交流し、活動を広げて

お母さんを対象とした
回の様子(→)



いきたいとの思いから改めて団体を設立したとのこと。そこで団体の活動目的について、代表の今井さん、メンバーの森岡卓也さんにお話を伺った。取材の当日もワークショップで作成する和紙と身近にある廃材を使った花器の工作法を 2 種類ご紹介いただき「工夫次第で季節を感じながらお花は楽しめる」と森岡さん。お花や茶の湯の伝統文化、美術など美しいものへの感動から心を育む“美育”、そして新鮮で生命力の溢れる食材による食事で体を育む“食育”を中心に“松本市民が心身ともに健康で豊かに生活できること”を目的に、健康法の資格を持つ講師やボランティアとともに美育・食育の活動を展開中とのこと。また現在一緒に活動してくれるメンバーも募集中。興味がある方は、ぜひ一度事務局にご連絡を。(坪根)

障害者パソコン研究会

E-mail : hmaeno@avis.ne.jp (代表 : 前野弘美)
HP : <http://bit.ly/gwcdotlab>

『障害者パソコン研究会』は平成 7 年に発足し、今年 20 周年を迎えた。設立当時の団体名称は『障害者パソコン通信研究会』。パソコンを使ったコミュニケーションを通じた社会参加を目的として設立された。当時はパソコンのメールコンテンツでの交流が主であったが、インターネットの普及などをきっかけに『障害者パソコン研究会』に改名された。松本市を中心に、パソコンなどの情報機器を利用して、障害を持つ人あるいは高齢者が社会に参画できるよう技術・情報支援などを行っている。

今回は、障害者パソコン研究会代表の前野弘美さんにお話を伺った。近年の情報機器は音声認識などのツールが増え、視覚障害を持つ方でも操作しやすくなり情報伝達の幅を広げている。しかし、一般のパソコン教室では障害のある方は身体的な理由から機器操作に苦戦し、指導に追いつけないことがある。機器操作の前に身体に合う機器や設定を選ぶ必要であり、それを理解する指導者が必要である。会では指導のみならずそういった情報も

月 1 回日曜日
に行われている
タブレット勉強会
の様子
(→)



共有し、各々に合ったパソコンの活用法を一緒に考えている。「色々な人の集まることで、新たな可能性や目からウロコの発見となる。それが嬉しい。」と前野さん。現在、受講生は男女問わず 40~70 代と幅広い。会では講習会以外にも年に 1 回程、旅行や食事会、パン作り体験などの会員が集う活動もある。

来年度も月 1 回日曜日に弱視・全盲の方々を対象にしたタブレット勉強会を行う。これは盲学校の先生やパソコン指導者、市民ボランティアなども集まる。また 8 月 6 日(土)に名古屋から眼科医を招いて講演会を行う。毎月第 3 土曜日にはマイクロソフトオフィス講座を開催予定。一緒に活動する支援者・会員を募集している。情報機器の技術向上や新たな出会いのきっかけの場として、一度足を運んでみてはいかがだろうか。(海口)

INFORMATION

お申込み・お問合せは各団体に直接お願い致します。



イベント・募集情報をお寄せください。

サポートセンター通信やホームページで、イベント情報や募集情報などをご紹介します。



外国人観光客受入環境整備セミナー 「外国人観光客のおもてなし」

- ◆日時：3月25日（金）15:00～17:00
- ◆会場：ホテルブエナビスタ
- ◆講師：ジェフ・バーグランド氏
…京都外国語大学教授。
『所さんのニッポンの出番』等出演。
- ◆参加費：無料
- ◆申込み：（一社）松本観光コンベンション協会
TEL: 0263-34-3295

「新老人の会」信州支部フォーラム

- 「新老人の会」は、日野原重明先生が長年にわたり培ってきた「健康観」をベースに、日本のシニアが健やかで充実した生涯を送ることができるようにと願って発足されたものです。
- ◆日時：4月28日（木）開場 13:00 開演 13:30
 - ◆会場：ホテルブエナビスタ
 - ◆講師：日野原重明先生（「新老人の会」会長）
相澤孝夫先生（相澤病院理事長・院長）
 - ◆参加費：2000円
 - ◆問合せ：橋本京子 TEL: 090-6030-5006

殿村遺跡とその時代VI —平成27年度発掘報告会・講演会—

- 殿村遺跡が営まれた中世とはどんな時代だったのか？やきものを中心とした考古学の世界から見えてくる中世の武家社会や文化について語ります。
- ◆日時：3月26日（土）13:00～15:40
 - ◆会場：ピナスホール
 - ◆講師：小野 正敏氏
 - ◆参加費：無料
 - ◆問合せ：文化財課史跡整備担当 TEL: 0263-85-7064

子どものいる家族のための離婚・別居・再婚相談

- 「親子ネット NAGANO」は、親の離婚を経験した子どもの両親に愛される機会を守る支援をしています。子どもの最善の福祉を尊重する立場から、実務経験を持つ相談員が離婚後の親子のあり方についてご提案させていただきます。
- ◆問合せ：親子ネット NAGANO 事務局
E-mail: kodomokenri@gmail.com
TEL/FAX: 050-3468-3743

松本ホテル学会 2015 年度活動報告会

- 松本ホテル学会「2015 年度活動報告会」を開催いたします。市民の皆様のご参加を歓迎致します。
- ◆日時：4月3日（日）13:30～16:00
 - ◆会場：松本市市民活動サポートセンター
 - ◆参加費：無料
 - ◆問合せ：松本ホテル学会事務局（藤山）
TEL: 050-7502-9328
E-mail: sfujiya@shinshu-u.ac.jp

がん患者支援チャリティ・イベント リレー・フォー・ライフ・ジャパン ボランティアスタッフ募集

- ルミナリエの配列スタッフ、飲食ブースのスタッフ、ステージスタッフ等。前日準備から翌日の片付けまで募集します。短時間のボランティアも歓迎します。3時間以上ご協力いただける方にはお食事をご用意します。
- ◆日時：9月17日（土）～9月18日（日）
 - ◆会場：松本平広域公園やまびこドーム
 - ◆問合せ：リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016
信州まつもと実行委員会事務局（大月）
TEL: 090-1120-3352

市議と語ろう！議会報告会

- 議会活動への市民参加の機会を広げ、皆さんの多様な意見を把握するため、議会報告会を開催します。全議員が2会場に分かれて、皆様の参加をお待ちしています。
- ◆日時：4月13日（水）19:00～20:30
 - ◆会場：松本市役所本庁舎3階 大会議室
総合体育館 大会議室
 - ◆問合せ：松本市議会事務局
TEL: 34-3210 FAX: 34-9811

編集後記

日増しに暖くなり、今年も春の足音が近づいてきました。節目の季節に、見慣れた松本の街並みも新たな光を帯びてわたしたちの目を楽しませてくれています。来年度が皆さまの更なるご活躍の一年となることを願いながら、サポートセンターもさらにパワーアップしていけるよう努めてまいります。（中川）

